

一、本日午後当地へ着ス
 二、当地へ進行中「カビラー」沖ニ於テ米國將校来艦昨日及今日米國第二次ノ運送船到着シタルノ報ニ接セリ
 三、總攻撃ハ一兩日ノ内ニ開始セラルベキヲ傳聞ス
 四、馬尼刺市中ノ景況ハ三週間前ト大差ナキカ如シ時々銃砲声ヲ聞クモ其方向後前ノ位置ヲ固守スルニ過ギズ
 五、一兩日前「カビラー」ヨリ来リ先某ノ説ニ因ルハ米軍ハ海上ヨリ砲撃ヲ並ニ行ハントストリ説アリ
 六、下官ハ曾テ西軍總督ノ許可ヲ得テ防御線ヲ視察シタルヲ以テ米軍方面ヨリノ觀察ハ徳義上自ラ避バ心ス積リ



114
 A 800
 10

極秘

第一種

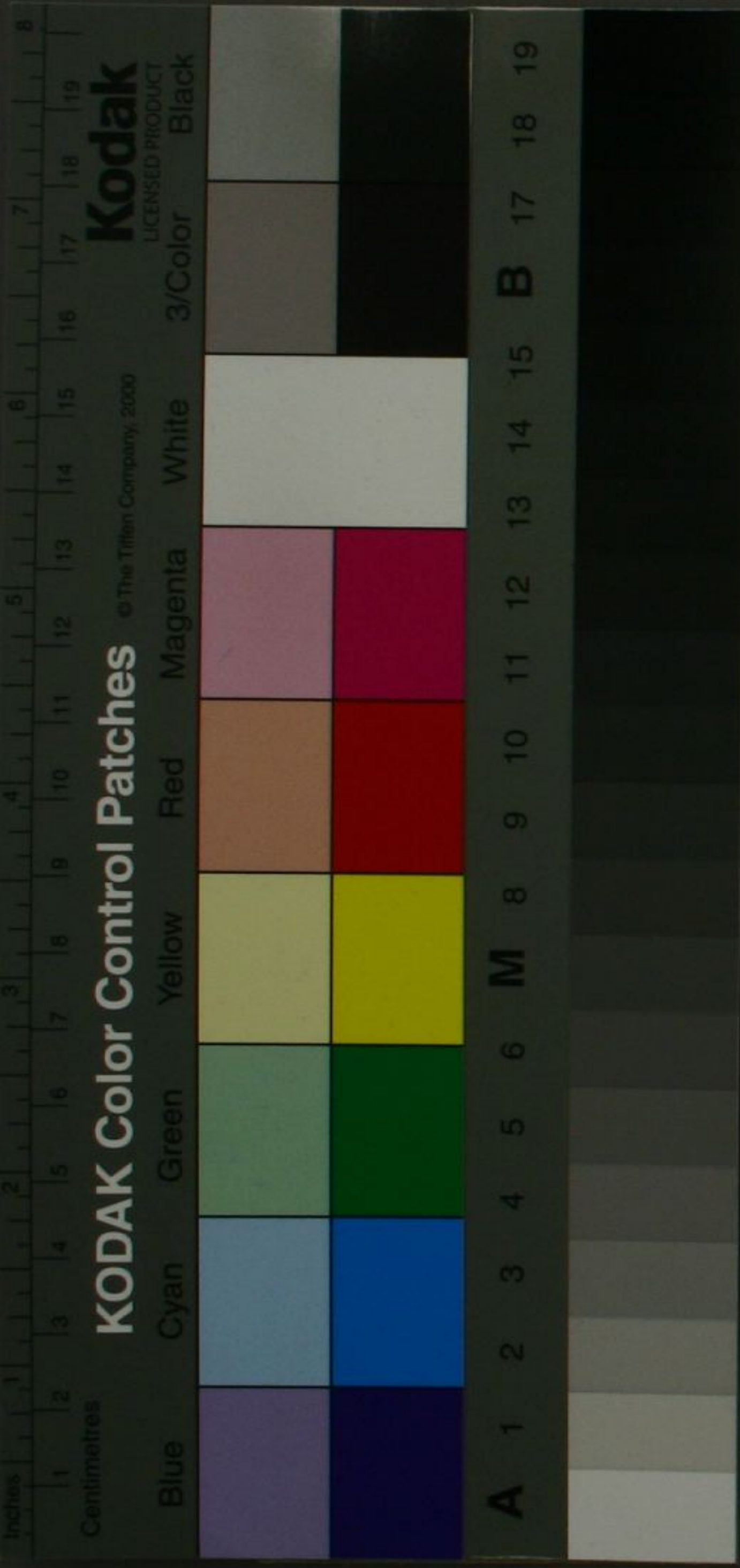
本報 権者 七二一

明治三十一年七月十七日馬尼刺發

陸軍少佐明石元二郎第三十七報告

265

1-10



明治三十二年七月十七日馬尼刺殺

陸軍歩兵少佐明石元二郎第三十八報告

一 獨國人某在當地新聞記者等ニ本日端方面會シタル彼等ノ説ク所ハ米國ハ急ニ攻取テラスノナク又砲撃ヲモ爲サズヤト

殊ニ當地新聞記者杯ハ大ニ米兵ノ畏ル可ラザルヲ説キ居

此ノ色ナシ一跡ニ米兵ニ就テハ西人ハ役素ヨリ其能ク爲テ

キヲ唱フテ多シ(勿論未だ戦ハザレ也)

又一般ニ西國ノ「カマラ」將軍ノ艦隊ハ一兩日中ニ到着スベキ

ニト信シ居見如シ(News)電報ヲ香港ニテ見ル所ニ依

ルハ今ハ紅海中ニテ方本國ニ引還シカカノニツノ内ニアルヤ

答フニ

二項中ノ事ハ時澤大尉が今日本國「ア」ラソシニ將軍ヨリ
聞知シテ所ト畧ホ相合ス

時澤大尉ヨリ過日米國軍役軍希望ノ旨トテ香港
在留中ノ報告ヲ受領シ且ツ下官ハ其役軍トテテ意義
付テ如何ノ譯文ナリニヤカサリシモ免ニ南米國ノ方

面ヨリ觀察セシト「ハ」決シテ不同意ニ非ラサリシヲ以テ直
香港上野ノ領事ヲシテ在留香港米總領事ニ照會
シ時澤大尉ノ望シニ對シ成ルルカヲ添ハテ「ヨ」トテ書

面ヲ「ア」ラソシニ將軍ニ宛テシメ其書狀ハ時澤大尉
渡シヨリ

三本日「ト」ドウ方面ニ「ロ」ロ「ロ」方面ヲ時澤大尉ト共ニ巡視
シテ但シ時澤大尉ハ別ニ姓名ヲ名乗ルル必要ナシト當地
居「ト」付テ心配ヲ要ス点ナシト「ロ」ロ「ロ」ニ兩三度往來ス

是レ彼等役人「ト」方ヨリ各乘リ懸ケルモ海軍ノ將校ト考察
ス「ト」常ニ「ト」ナリ是レ我新来ノ日本人ハ悉ク軍艦ノ人ト
思ヒ居ル「ト」多ク「ト」ナリ又々中之國ノ人民ハ無論双方ニ往
復シ得バケレバナリ（實際我使船ノ都合隨テ往復困
難ナレタ）

四兩方面共往來ト「ト」差ナシ又其他「ロ」ラ「テ」サ「タ」ナ「レ」方面ニ付テ
火線ノ有様ヲ望ム「ト」以前ト異ナラス

五「ト」ドウ「ト」是レ「ロ」ド「ト」ウ「ト」尾ヨリハ大ニ離レ居テ防禦ノ第一線
即チ火線マ「ト」一輛牽ノ汽車運轉セリ汽車ハ賊ノ線ニ

六二百米突「ト」テ止マル（随分珍ラシキ「ト」ト「テ」正サニ戰
中ニ「ト」テ負傷者二名出来シ後方ニ運搬ス「ト」際シ各「ト」

兩人ハ同乗シテ歸「ト」リ
「ト」下「ト」ノ方面ニ都「ト」ニ賊二千人ヲ以テ攻撃シ「ト」マ「ト」

三十五人ノ兵因鎖家屋ニ因テ之ヲ拒テ其ノ勢ヲ退シテトテ

中尉ハ得色アリシ

方前ト変テ家屋(寺院)及墓地ヲ於テ土

戰セリ

其ノ士氣ハ餘リ衰レ居ラサル様見受テ

六

下官ハ大勢上別ニ変事ヲ起ラサルマデト存帰途ニ就

テモ何台時自短キ為メ秋津洲船ノ出立ニ関シ

又モ一便延引致候(目下浪速)